

取組例（1）ビジターセンター等公共施設の民間開放

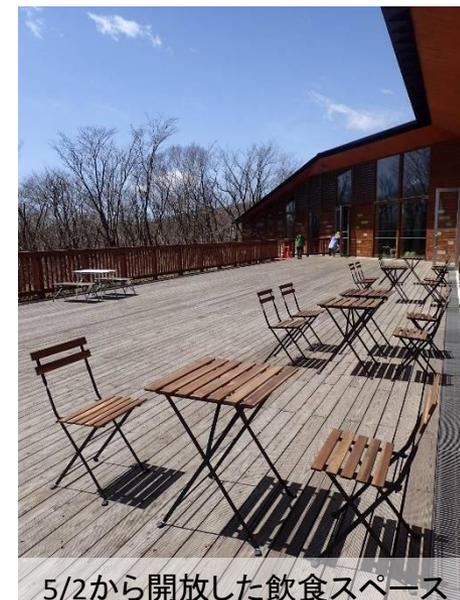
① 天空カフェの設置

- ・伊勢志摩国立公園において、英虞湾の景色が一望できる横山展望台に、民間のカフェを導入
- ・H29年度中の施工完了を目指し、現在設計中
- ・公募により民間事業者を選定予定



② 那須平成の森フィールドセンターでのカフェスペース設置

- ・地元在住デザイナーの助言を受け、イス・テーブル等を設置し、5/2より飲食スペースとして開放
- ・H29.6頃より、地元カフェ等による出店形式での飲食提供を行うカフェスペースとして試験的に開放予定



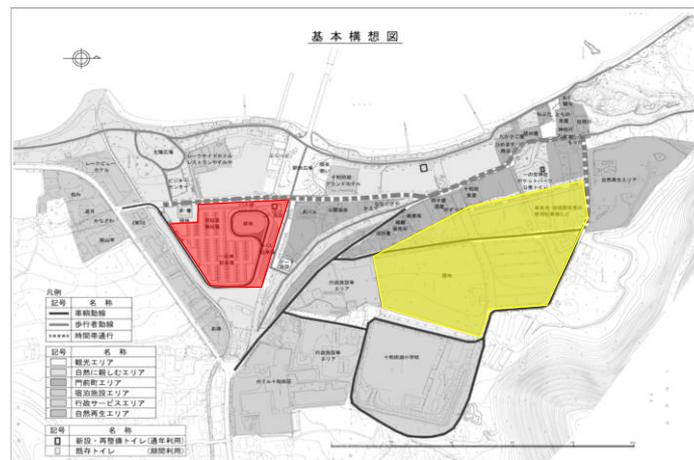
取組例（2）景観の磨き上げと快適な利用環境の整備

①十和田湖畔の休屋地区における景観改善

【十和田八幡平国立公園】

- 休屋地区において、廃屋を含むエリアにおける園地、駐車場の再整備等による景観改善に向け、地元関係者と調整中。平成29年度に基本設計、平成30年度に工事予定。

【十和田八幡平NP】休屋地域における再整備計画



- 駐車場を含む園地の再整備
- 意見交換会により園地再整備内容を検討中

②大山寺地区における景観改善

【大山隠岐国立公園】

- 大山寺地区において、地元自治体が内閣府の交付金を活用し、廃屋を撤去しつつカフェや物販機能を有する「山の駅（仮称）」を整備予定



撤去中の廃屋

取組例（3）国立公園オフィシャルパートナープログラム

- 環境省と企業が協力し、国立公園の魅力を世界に発信する国立公園オフィシャルパートナーシップを31社と締結。
- HP、機内誌等での国立公園の紹介や、旅行商品の造成・販売が行われているほか、観光庁が作成した国立公園満喫プロジェクト8公園の魅力を紹介する動画を5月より成田空港で放送開始し、ANA、JALの機内でも6月より放送する方向で調整中。
- H29.4に栃木デスティネーションキャンペーンの全国宣伝販売促進会議を開催（全国の旅行会社を集めたプレゼンテーションや商談会、現地視察を実施）
※プレゼンテーション及び現地視察では、国立公園内（中禅寺湖、湯元、那須平成の森フィールドセンター等）についても紹介



取組例（４）利用料等を保全に還元する仕組み

① 草原フィールドミュージアム

- ・ 阿蘇くじゅう国立公園において、希少な植物が生育する草原フィールドをミュージアム化し、得られる環境保全協力金で草原の保全・再生を推進するシステムを構築
- ・ 平成29年度に具体的な実施体制等を検討し、平成30年度より着手予定



② 旧修験道のガイド付き限定利用

- ・ 十和田八幡平国立公園の休屋地区において、十和田信仰を体感するため旧修験道を新たな歩道として整備し、ガイドを通じて歩道の維持管理等に活用するための協力金を集める仕組みを構築
- ・ 平成29年度中に関係者との調整、設計等を行い、平成30年度中に供用開始予定



③ ロッカー、シャワー使用料

- ・ 大山情報館の登山基地機能強化として、ロッカー、シャワールームを新設し、利用者から料金を徴収して管理の充実に充てる